

**平成28年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書**

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員長	恒石 美登里	日本歯科医師会・日本歯科総合研究機構・主任研究員
-------------------	---------------	--------------------------

評価項目	5段階評価										
	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い

総評（300字以内）

28年度で3年目となり、各連携大学での電子授業の試行が開始され順調に計画が進んでいると思われます。特に、国立と私立また医学部口腔外科といった環境の違いを超えて、さまざまなステージや患者の状態に適用できる歯科医師の養成は喫緊の課題です。本プログラムが遂行されることで、地域の実情に応じた現場で活躍できる歯科医師の養成が期待されます。

取組概要にも記載されている介護現場や終末期における歯科医師の役割や、食をキーワードとした歯科医師の取り組みをさらに社会に見える化できるような取り組みとして推進・周知することも重要と考えます。

**平成28年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書**

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	菊谷 武 先生	日本歯科大学 口腔リハビリテーション多摩クリニック 院長
------------------	----------------	------------------------------------

評価項目	5段階評価										
	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	⑤	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	④	・	5	良い

総評（300字以内）

各大学の特徴をさらに強調した実習、教育内容が実践で来たのではないかと。前年度の課題であった各大学間の乗り入れについても徐々に進んでおり評価できる。今後これらが体系化したプログラムとして提示されることが望まれる。

**平成28年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書**

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	東口 高志 先生	藤田保健衛生大学医学部 外科・緩和医療学講座教授
------------------	-----------------	-----------------------------

評価項目	5段階評価						
	悪い	1	2	3	4	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	2	3	4	⑤	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	2	3	④	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	2	3	4	⑤	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	2	3	4	⑤	良い

総評（300字以内）

本プロジェクトの実施体制は年々充実しており、実績および業績は一段と研鑽が積み重ねられているように思います。妥当性につきましては、タイトルにありますように、わが国の将来に必要なキーワードが含まれた素晴らしい試みと思います。成果につきましても、医科歯科連携の教育体制の構築が進行しているようですが、死生学的な見地からの展開がもう少し明確であればと感じます。一方、離島を含む地域連携と多職種連携につきましてはさらに進歩した形で事業が遂行されておられ、業績も十分と判断いたします。結果的に、素晴らしい人材育成体制が確立されているように感じております。引き続き、本プロジェクトをお進めいただければ幸いです。

平成28年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	葛谷 雅文 先生	名古屋大学地域在宅医療学・老年科学 分野教授・未来社会創造機構教授
------------------	-----------------	--------------------------------------

評価項目	5段階評価										
	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	・	2	・	3	・	4	・	5	良い

総評（300字以内）

共通の目標に向けて多大学が協調して実施するにはかなりの労力があると思うがそれを実施されておられることに関しての評価は高く、本プロジェクト歯科医学教育改革の意義は大きい。ただ、報告書からはそのアクティビティーは大学間でかなり差があるのも見て取れる。

死生学、認知症に関しては座学、介護施設でのPBLなどが予定通り実施されている。

生活習慣病、認知症などに関する座学、施設での研修などが盛り込まれてはいるが、一部の大学を除いては医学生、医師との直接的な交わりがない。ぜひ全大学で実施していただきたい。

業績に関しては何をもち、本プロジェクトと関連するのかが不明なものも多く認められる。

**平成26年度 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム
外部評価報告書**

「健康長寿社会を担う歯科医学教育改革—死生学や地域包括ケアモデルを導入した医科歯科連携教育体制の構築—」事業

外部評価委員会委員	熊倉 勇美	医療法人社団和風会 千里リハビリテーション病院・顧問 島根大学医学部歯科口腔外科学講座・臨床教授
------------------	--------------	---

評価項目	5段階評価						
	悪い	1	2	3	4	5	良い
事業計画の妥当性	悪い	1	2	3	4	⑤	良い
計画に沿った成果を得られているか	悪い	1	2	3	4	⑤	良い
本プロジェクトに関連した業績は十分か	悪い	1	2	3	④	5	良い
事業費の使途に問題はないか	悪い	1	2	3	4	⑤	良い

総評（300字以内）

事業計画が順調に進められていることが、良く理解出来ました。特に医療支援歯学教育コースワーク（電子授業シリーズ）の試行開始、岡山大学での必修化は、計画具体化の上で特筆すべきことのひとつと思います。e-learning 講義システムの機能拡張、各大学での利用促進も徐々に進んでいるようですので、連携大間での情報共有と連携校以外への情報提供なども含めて期待したいと思います。前回指摘させていただいた事業費の使途の分かりにくかった点が、資料 33「収支報告」で明快になりました。2017. 4.27 記